

# 平成25年度 公益財団法人栃木県体育協会事業計画

## 基本方針

県民のスポーツ活動に対するニーズはますます増大し、かつ多様化しており、栃木県が策定した栃木県重点戦略「新とちぎ元気プラン」の基本目標である“「安心」「成長」「環境」をともにつくる、元気度 日本一 栃木県”のため、スポーツを通じた人づくりとスポーツの振興を図ることとする。

このため、「県民ひとり1スポーツ」の定着と「競技力の向上」に努め、「豊かなスポーツライフ」の実現を目指して、各種事業を推進する。

平成25年度は、加盟団体をはじめ関係機関・団体との緊密な連携のもと、健康マラソン大会・県民スポーツ大会の開催、スポーツ少年団の育成強化、総合型地域スポーツクラブの育成、スポーツ指導者の育成及びスポーツ国際交流等の諸事業を推進し、スポーツの普及と充実を図るとともに、国民体育大会等に参加する選手の育成・強化事業を推進する。

これらの諸事業を推進するための拠点施設として、今市青少年スポーツセンター・栃木県体育館の施設整備と適切な管理運営に努める。

# 1 スポーツ振興事業

## (1) 各種大会開催事業

### ア 栃の葉国体記念第31回健康マラソン大会の開催

県内外のマラソン愛好者が一堂に会し、体力の向上と健康の保持増進を図るとともに、県民がスポーツを通して友好を深め、活力ある豊かなライフスタイルの形成に寄与することを目的として開催する。

期 日 平成25年11月3日(日)  
会 場 県総合運動公園及び周辺道路

### イ 栃木県民スポーツ大会の開催

「県民ひとり1スポーツ」の推進をスローガンとして、広く県民へのスポーツ振興を図り、生涯にわたる健康や体力の保持増進を図るとともに、明朗にして連帯感あふれた活力ある地域づくりに寄与することを目的として開催する。

#### ① 大会

大会は、地方大会(市町大会)と中央大会とし、市町は中央大会の予選として市町大会を開催する。

#### ② 中央大会実施競技

対抗競技 21競技 オープン競技 5競技

第1日目 平成25年10月20日(日) 水泳競技ほか20競技

第2日目 平成25年10月27日(日) 軟式野球競技ほか9競技

第3日目 平成25年11月 3日(日) ロードレース

#### ③ 総合表彰式(期日 平成25年12月5日(木) 予定)

総合優勝、総合準優勝・総合第3位及びスポーツ奨励賞の市町を表彰する。

## (2) スポーツ医科学事業

スポーツの多様化・高度化に対するため、スポーツ医・科学委員会が理事会の諮問に応じスポーツ医科学に関する調査・研究活動及び県民への医科学的支援事業を実施する。

### ア スポーツ医・科学委員会及び倫理審査会の開催

### イ 調査・研究活動及び県民への支援事業

#### ① 医科学分野をはじめとした総合支援事業

県民のスポーツ活動に対し、その活動がより健全に行われるようスポーツドクター、アスレティックトレーナー、スポーツ科学(ゲーム分析・スポーツ生理学等)、スポーツ栄養学、スポーツ社会学といった総合的な分野から、その支援活動を行い、県民1人ひとりの豊かなスポーツライフの享受に寄与する。

#### ② 国体選手の健康管理調査

健康管理調査研究班員会を中心に、国体に参加する選手を対象にメディカルチェックを実施し、日頃のトレーニングや大会参加中の事故防止に万全を期すと同時に、県内の(公財)日本体育協会公認スポーツドクターとの連携を図る。

③ 国体選手を中心としたドーピング防止教育・啓発活動

国体におけるドーピングコントロール実施に伴い、健康管理調査研究班委員会を中心に、国体に参加する選手、監督・コーチを対象に薬の乱用・誤用防止の認識を高めるために研修会等を開催して、健全なスポーツ活動を推進する。

ウ スポーツ医科学情報の提供

ホームページ等を活用し、スポーツ医科学の情報提供に努める。

(3) 顕彰事業

本県体育・スポーツの振興に貢献し、その功績顕著な者及びスポーツ界で優秀な成績を収めた者に対し、その栄誉を称え表彰する。

ア スポーツ功労賞

地域職域等において、指導者等として永年にわたってスポーツの普及・発展に貢献した者、加盟団体等の役員・指導者として振興・発展に貢献した者を表彰する。

イ スポーツ優良団体賞

地域社会・職場職域等において、永年にわたってスポーツの普及・振興に貢献した団体を表彰する。

ウ スポーツ優秀選手賞

国際大会に出場及び日本選手権大会で、優勝並びに国際大会で優秀な成績を残した選手または、チーム及びチームの一員として参加した選手を表彰する。

エ 船田スポーツ賞

若手指導者として本県スポーツの競技力の向上に貢献した者を表彰する。

オ 国民体育大会優秀団体・監督・選手賞

国民体育大会において、優秀な成績を残した監督・選手に対して感謝状を贈呈する。

カ 栃木県中学校スポーツ最優秀賞（星功賞）

心身ともに健康な中学生を対象に全国大会で2位以内の成績を収め、本県中学校スポーツの振興貢献のあった個人又は団体を、(公財)栃木県体育協会及び栃木県中学校体育連盟の連名で、表彰する。

(4) スポーツ指導者育成事業

本県スポーツの一層の振興を図るため、多様化・高度化した県民のニーズに応え、適切な指導のできる地域スポーツ指導者を育成する。

ア スポーツ指導員養成講習会の開催

地域において、スポーツ活動を実施しているクラブやグループ、スポーツ教室で特定競技種目の基礎的なスポーツ技術や一般的な身体活動の指導を行う指導者の養成を目的として実施する。

実施予定競技 : 山岳・ソフトボール・バレーボール・テニス

#### イ スポーツ指導者研修会の開催

(公財)日本体育協会公認スポーツ指導者の一層の資質向上と指導活動の充実を図るため、指導者のニーズに応じた講演・実技研修等を内容とするスポーツ指導者研修会を開催する。

期 日：平成25年12月15日(日)

会 場：栃木県総合教育センター

#### (5) 広報事業

本協会活動状況、主催事業等を積極的に広報するとともに、県内のスポーツ情報を収集し、広く県民に情報提供することに努め、県民の理解と協力を得ることを図る。

ア 県体協だよりの発行

イ 体協アワー(栃木放送)による広報

ウ 栃木県体育館月報の発行

エ 今市青少年スポーツセンターパンフレットの発行

オ ホームページによる広報

カ その他新聞・放送等の媒体による広報

#### (6) スポーツ教室開催事業

県民のスポーツに対する多様なニーズに応え、次のとおりスポーツ教室を開設する。

○ スポーツ教室種目	8講座(通年2講座、前・後期6講座)
・ヨガ	1講座(通年：昼間)
・ピラティス	2講座(4～11月：夜間・昼間)
・キッズサマースクール	2講座(前期：昼間)
・ズンバ	1講座(通年：昼間)
・バレトン	1講座(4～11月：昼間)
・太極拳	1講座(4～10月：夜間)

#### (7) とちぎの子ども元気塾事業

将来を担う子どもたちに、様々な運動(運動遊び)を行うことにより、身体を動かす楽しさを体験させ、子どもたちの発育・発達に応じたスポーツの基礎づくりを行う。

また、加盟団体と連携することにより多様なプログラムを子どもたちに提供し、これからの栃木県スポーツを支えるタレント発掘を目的とする。

期 日：平成25年6月～平成26年2月

通常スクール16回、宿泊スクール2回

会 場：今市青少年スポーツセンター、栃木県体育館他

対 象：小学校1年生～3年生

対象人数：40名

#### (8) 総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

生涯スポーツ社会の実現を図るため、とちぎ広域スポーツセンターと連携しながら子どもから高齢者まで、誰もがいつでも参加できる総合型地域スポーツクラブを育成することにより、地域住民による自主運営のスポーツクラブの組織化・定着化を推進する。

## ア クラブ設立・運営支援活動

- ① クラブアドバイザーの配置
- ② 創設支援クラブ及び設立クラブに対する現地ヒアリング
- ③ (公財)日本体育協会公認アシスタントマネジャーの養成

## イ 普及・啓発活動

- ① 市町へのクラブ設立に向けた啓発訪問
- ② クラブ啓発フォーラムの開催

## ウ 栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の運営

- ① 第1回県総合型クラブ連絡協議会(6月)
  - ・年間事業計画、規約等の検討等
- ② 第2回県総合型クラブ連絡協議会(12月)
  - ・クラブ事例発表、研究協議等
- ③ 第3回県総合型クラブ連絡協議会(2月)
  - ・研修会、次年度事業計画検討等
- ④ 県総合型クラブ交流会の開催(2月)
  - ・県内の総合型クラブの会員及び関係者が一堂に会し交流を深める。

## 2 スポーツ少年団育成事業

### (1) スポーツ少年団組織運営事業

スポーツ活動を通じて、次代を担う青少年の健康な身体と心を育てるとともに、地域社会における豊かな人間関係や連帯感の醸成のため、市町のスポーツ少年団指導者・団員の登録並びに母集団を育成し、指導者・リーダーの養成及びスポーツ少年団活動の一層の充実を図る。

#### ○ 市町におけるスポーツ少年団組織の充実

市町スポーツ少年団組織の整備と充実を図るため、スポーツ少年団委員総会・指導者協議会等開催するとともに日本スポーツ少年団及び各都道府県スポーツ少年団との連携充実に努める。

### (2) スポーツ少年団指導者・リーダー育成及び派遣事業

スポーツ少年団活動の充実を図るため、指導者及びリーダーの養成と資質の向上を目的とする講習会・研修会を開催するとともに、中央事業への派遣を実施する。

#### ① 講習会・研修会の開催

##### ○ 栃木県スポーツ少年団指導者研修大会

平成26年2月2日(日) 栃木県総合教育センター

対象：スポーツ少年団の育成・指導にあたっている単位団指導者・育成母集団関係者等

- 栃木県スポーツ少年団認定員再研修会  
平成25年11月24日(日) 今市青少年スポーツセンター  
対 象：スポーツ少年団認定員再研修対象者
- 公認体カテスト判定員養成講習会  
隔年開催  
対 象：スポーツ少年団の育成・指導にあたっている単位団指導者等
- ジュニア・リーダースクール  
平成25年7月26日(金)～7月28日(日) 今市青少年スポーツセンター  
対 象：市町の推薦を受けたジュニア・リーダー候補者(中学生団員)
- リーダーズクラブ研修会等  
1泊2日の宿泊研修を含め年間5回  
対 象：リーダーズクラブ会員

② 認定員養成講習会

- ・中央開催(2コース)

中央1コース

期 日：平成25年8月25日(日)・9月29日(日)

会 場：栃木県総合教育センター

中央2コース

期 日：平成25年9月8日(日)・10月6日(日)

会 場：今市青少年スポーツセンター

- ・地区開催(1コース)

南部地区コース(佐野市)

期 日：平成25年6月30日(日)・7月21日(日)

会 場：佐野市城北地区公民館

③ 中央事業への派遣

- 日本スポーツ少年団認定育成員研修会  
期 日：平成25年10月19日(土)・11月10日(日)  
会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター
- シニア・リーダースクール  
期 日：平成25年8月8日(木)～12日(月)  
会 場：静岡県(国立中央青年の家)

(3) スポーツ少年団大会開催・派遣事業

全国または関東大会等に代表者を派遣し、その交流活動を通じてスポーツ技術と資質の向上を図り、各地域におけるスポーツ少年団活動の向上に資する。

ア 第51回全国スポーツ少年大会

期 日：平成25年7月26日(金)～7月29日(日)

会 場：大分県佐伯市（指導者1名、団員8名）

イ 全国スポーツ少年団競技別交流大会（軟式野球・バレーボール・剣道）

- ① 軟式野球           期 日：平成25年8月1日（木）～5日（月）  
                      会 場：北海道札幌市
  
- ② バレーボール       期 日：平成26年3月27日（木）～30日（日）  
                      会 場：和歌山県和歌山市
  
- ③ 剣 道               期 日：平成26年3月28日（金）～30日（日）  
                      会 場：石川県金沢市

ウ 平成25年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会

期 日：平成25年9月28日（土）～29日（日）  
会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター（指導者1名、リーダー1名）

エ 第32回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

期 日：平成25年7月26日（金）～28日（日）  
会 場：茨城県水戸市  
種 目：軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・バドミントン・空手道

オ 第44回関東ブロックスポーツ少年大会

期 日：平成25年8月22日（木）～24日（土）  
会 場：神奈川県愛甲郡愛川町（指導者1名、団員15名）

カ 第12回関東ブロックリーダー研究大会

期 日：平成25年11月2日（土）～3日（日）  
会 場：群馬県前橋市（指導者1名、リーダー3～4名）

キ 競技別交流大会

軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・卓球・剣道・柔道・バドミントン・空手道の8競技について、各関係競技団体の協力を得て組織された専門部を中心に、各交流大会の充実に努める。

ク 交歓会

市町の小学生団員の代表を対象とし、野外活動や文化活動による交流活動を通して、友情や自立・奉仕の精神を養い、地域における団活動の充実に資する。

(4) スポーツ少年団国際交流事業

スポーツ少年団の発展を目的に世界的視野を持った将来のリーダーを育成するために、(公財)日本体育協会が実施するスポーツ少年団リーダー等の海外派遣及び受入れを行う。

日独スポーツ少年団のリーダー達が相互交流（派遣・受入）することによって、スポーツ少年団活動の活性化を図るとともに21世紀を担う国際的な視野を持った青少年を育成することを目的として実施する。

派 遣：団員2名   平成25年7月31日（水）～8月18日（日）   ドイツ  
受 入：鹿沼市   平成25年7月30日（火）～8月 3日（土）

(5) スポーツ少年団顕彰事業

永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある単位スポーツ少年団並びに指導・育成に貢献し、功績のあった登録指導者を表彰する。

### 3 競技力向上事業

国民体育大会において常に上位の成績を狙えるよう競技力の向上に努めるとともに、国際大会や全国大会等で活躍できる選手の育成を図るため、競技団体及び関係機関・団体との緊密な連携のもと各種事業を推進する。

(1) 選手育成強化運営事業

ア 競技力向上委員会の開催

理事会の諮問に応じ、本県の競技力向上に資する。

イ スポーツ医・科学委員会健康管理調査研究班員会の開催

国体選手の医科学サポートを行うとともに、選手育成強化に係わる医科学研究を支援する。

ウ 競技団体代表者会議の開催

本協会の事業方針・計画・予算等を競技団体へ周知し、競技力向上事業の円滑な運営と補助金の適正な執行を図る。

エ 選手強化連絡会議の開催

競技力向上事業を効果的に進めるため、関係者が一堂に会し情報の共有化を図り、本県の競技力向上に資する。

(2) 指導者養成事業

高度化する競技スポーツに対応するため、指導者を対象とした研修会等を開催し、資質の向上を図る。

ア 競技力向上研修会の開催

① 国民体育大会関東ブロック大会・本大会・冬季大会に向けて、監督・コーチの意識の高揚を図るとともに、強化方針や課題等の情報交換を行う。

② 一貫指導についての理解を深めるとともに、一貫指導体制の構築に活用できる知識の習得や、指導方法論等の習得を図る。

イ 競技別ヒアリング

各競技団体と当該年の国体（県予選～本大会）及び強化育成事業の取り組みについて分析し、今後の選手育成強化体制に関する課題と対策を検討する。

(3) 選手育成強化補助事業

本県の安定した競技力を確保するため、各競技団体の活動方針に基づき行われる選手育成強化事業に対して支援する。



## ア プロジェクトVロード事業

### ① 一貫指導グロウアップ事業

#### a 一貫指導推進事業

- ・初心者からトップアスリートまで、一貫した指導理念のもと育成強化体制を整備するために、各競技の特性に応じた一貫指導マニュアルを作成する。
- ・一貫指導マニュアルに基づいた育成強化事業を推進し、一貫指導体制の拡充を図る。

#### b ジュニア育成事業

- ・本県の幼児又は小学生から高校生までのジュニア層において、競技者の発掘・育成を目的とした事業を展開し、競技人口の拡大と少年種別の向上を図る。

### ② トップ指導者招聘事業

国内トップレベルの指導者や選手を招聘し、本県指導者の資質向上と選手の育成強化を図る。

### ③ 重点競技強化事業

本県の核となる競技種別に強化費を補助し、競技力の向上と国民体育大会における成績の向上を目指す。

### ④ 強化指定事業所・クラブ・大学・選手事業

#### <事業所・クラブ・大学>

国民体育大会や各種大会において活躍できる選手やチームが所属する事業所・クラブ・大学を指定し、本県競技スポーツの競技力向上及び普及・振興を図る。

#### <選手>

国民体育大会や各種大会において活躍できる優秀な選手を指定して、本県のトップ選手としての意識づけを高めるとともに、本県競技スポーツの競技力向上の振興を図る。

## イ 大会対策強化事業

### ① 基本強化

40競技団体の選手育成強化事業を支援し、競技団体内部の強化組織の充実や選手の育成強化及び指導者の育成を図る。

### ② スポーツ保険制度への加入

指導者並びに選手が競技に専念できるよう、スポーツ安全保険への加入を支援する。

## ウ 中・高等学校強化奨励事業

### ① 中学校運動部強化奨励

中学校体育連盟主催の運動部活動振興事業に対し支援し、各種大会に参加する選手の育成強化を促進し、競技人口の拡大と競技力の向上を図る。

### ② 高等学校運動部強化奨励

高等学校体育連盟主催の運動部活動振興事業に対し支援し、各種大会に参加する選手の育成強化を促進し、競技人口の拡大と競技力向上を図る。

## ※ 参 照 国民体育大会

### (1) 関東ブロック大会（神奈川県開催）

#### ア 実施競技

- |         |      |        |
|---------|------|--------|
| ○ 本大会競技 | 32競技 | } 33競技 |
| ○ 冬季競技  | 1競技  |        |

#### イ 中心会期

- |        |                       |
|--------|-----------------------|
| ○ 本大会  | 平成25年 8月23日（金）～25日（日） |
| ○ 冬季大会 | 平成25年12月20日（金）～22日（日） |

### (2) 国民体育大会

#### ア 第68回本大会

東京都	平成25年 9月11日（水）～ 9月15日（日）
	平成25年 9月28日（土）～10月 8日（火）

#### イ 第69回冬季大会

- |                   |     |                          |
|-------------------|-----|--------------------------|
| ○ スケート・アイスホッケー競技会 | 栃木県 | 平成26年 1月28日（火）～ 2月 2日（日） |
| ○ スキー競技会          | 山形県 | 平成26年 2月21日（金）～ 2月24日（月） |

## 4 今市青少年スポーツセンター事業

スポーツを通じて青少年の健全育成と地域スポーツの振興、また、生涯スポーツ並びに競技スポーツの実践拠点として、施設の有効利用と適正な管理運営を図る。

### (1) スポーツ教室開催事業

スポーツ教室種目（春：5月～7月、秋：9月～10月、冬：11月～12月） 10講座

・ピラティス	1講座	（春、秋：夜間）
・ヨガ	1講座	（春、秋）
・エアロビクス	1講座	（春、秋）
・骨盤リセット	1講座	（春、秋）
・キッズスケート	2講座	（冬）

### (2) 県民の日協賛イベント及び施設無料開放

県民の日協賛事業として、施設を一般に開放するとともに各種スポーツの無料体験を実施する。

○ 開放日：平成25年6月16日（日）

○ 内容

- ・各施設の無料開放
- ・キッズサッカースクールの開催
- ・キッズホッケースクールの開催
- ・クライミング体験
- ・無料体験教室の開催（エアロビクス、ヨガ）

### (3) サポート事業

県内の小中学校のスケート教室で、センターの職員が初心者を対象に指導を行う。

### (4) 施設貸与事業

#### ア 施設貸与事業

宿泊利用者や外来利用者（日帰り）に、スポーツ施設の貸出を行う。

平成25年度利用予定人数（目標）

- ・宿泊利用者 14,200人
- ・外来利用者 120,000人

#### イ 施設管理事業

利用者の安全と利用人員の増加を図るため、施設の保守整備・環境整備を行う。

### (5) 施設整備事業

冬季国体開催に伴い、スケートリンクの整備を行う（外壁工事等）。

### (6) 日光市ホッケー場管理運營業務（受託事業）

日光市から委託を受け、日光市ホッケー場の受付確認や施設管理・施設整備事業を行う。

## 5 栃木県体育館等管理運営事業

本県体育スポーツの中核施設として、施設の適正な管理運営を図るとともに、スポーツ教室や各種イベント等の事業を開催し、本県体育スポーツの振興を図る。

### (1) 栃木県体育館管理運営事業（受託事業）

#### ア 会議の開催

- ・ 栃木県体育施設協会役員会（理事会・総会）（1回）
- ・ 栃木県体育施設研究協議会（1回）
- ・ 専用利用調整会議（1回）
- ・ 全国都道府県立武道館協議会共催事業  
地域社会武道指導者研修会 「弓道（1回）」 「少林寺拳法（1回）」

#### イ スポーツ教室の開設

県民のスポーツに対する多様なニーズに応え、次のとおりスポーツ教室を開設する。

○ スポーツ教室種目	8講座（通年2講座、前・後期6講座）
・ ヨガ	1講座（通年：昼間）
・ ピラティス	2講座（4～11月：夜間・昼間）
・ キッズサマースクール	2講座（前期：昼間）
・ ズンバ	1講座（通年：昼間）
・ バレトン	1講座（4～11月：昼間）
・ 太極拳	1講座（4～10月：夜間）

#### ウ 県民の日記念協賛事業（施設無料開放）

県民の日記念協賛事業として、施設を一般に無料開放するとともに、教室の開催並びに各種スポーツの無料体験を実施する。

○ 開放日：平成25年6月15日（土）

○ 内容

- ・ 各施設の無料開放
- ・ 講習会の開催（小学生バドミントン講習会）
- ・ 各種スポーツ教室無料体験

（ピラティス&ストレッチ、バレトン、ズンバ、健康ヨガ  
トランポリン、ビューティー・ピラティス、なぎなた、太極拳）

#### エ 施設の運営管理

施設の適正な運営と定期点検を行い、利用者の安全とサービスの向上に努める。

### (2) 事務室及び会議室貸与事業

貸館業務（専用利用・普通利用）

- ・ 利用予定人員 約 204,000人

## 6 スポーツ安全協会委託業務

(公財) スポーツ安全協会から委託を受ける、スポーツ傷害等の団体保険に関する業務を行う。

## 7 栃木県総合射撃場管理事業

本県射撃競技の中核施設として、射撃技術の向上のため管理運営してきたが、環境保全対策のため業務を閉鎖している。

## 8 協会運営

本協会の運営について、基本的事項を協議するとともに事業を遂行するため次のとおり、理事会等を開催する。

(1) 理事会 (3回)

(2) 評議員会 (3回)

(3) 専門委員会

ア 総務委員会 (3回)

イ スポーツ医・科学委員会 (3回)

ウ 競技力向上委員会 (3回)

(4) 賛助会

県民総スポーツの振興が果す社会的役割と、これを推進する本協会の諸事業について県民各層の理解を得るとともに、事業実施に必要な資金を調達し財政確立を期する。

このため、企業団体、加盟団体、個人会員等に働きかけ、賛助会員の加入促進を図る。

(5) 国際交流事業

① 日韓スポーツ交流事業・地域交流推進事業

② 日中スポーツ交流事業・地域交流推進事業